

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	香川県
-------	-----

学校の概要

高松市立屋島東小学校								
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	6	11
児童数	19	27	27	25	32	25	155	

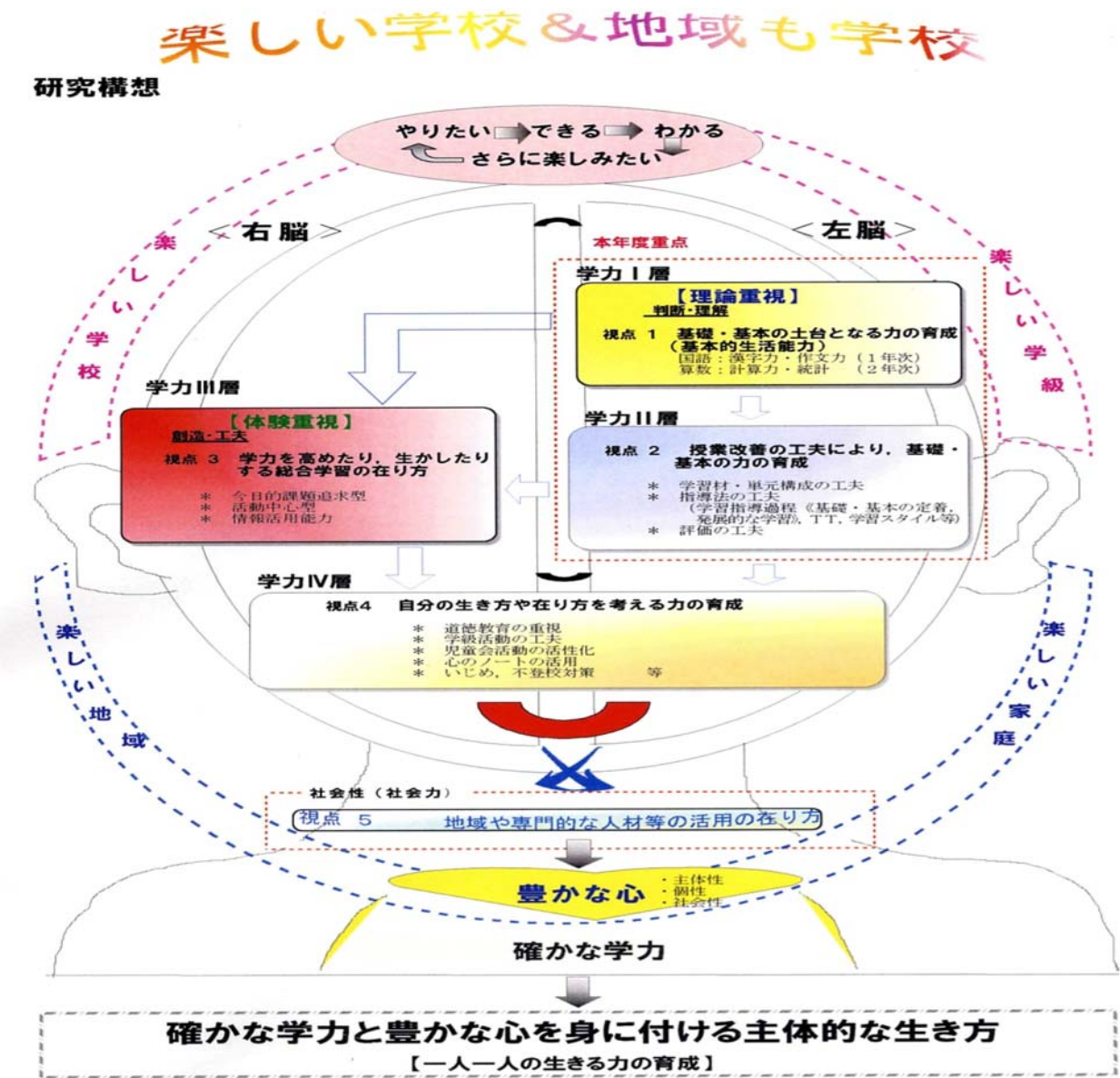
実践研究の概要

1. 主題（テーマ）

確かな学力と豊かな心の育成
 ～主体的に学び、考え・表現する力を育む授業改善を通して～

2. 内容と方法

(1) 本校の学力の4重層化と5視点



(2) 実施学年・教科

	視点1	視点2	視点3	視点4	視点5
1年生	H14年度	漢字力・作文力	国語	生活科シリーズ*単元	道徳・学級活動・児童会活動等
	H15年度	計算力・生活応用力	国語	〃	〃
	H16年度	国語・算数の土台		継続	〃
2年生	H14年度	〃	国語	生活科シリーズ*単元	〃
	H15年度	〃	算数	〃	〃
	H16年度	〃		継続	〃
3年生	H14年度	〃	算数	文化・情報	〃
	H15年度	〃	国語	〃・ことわざ・自作カルタ	〃
	H16年度	〃		継続	〃
4年生	H14年度	〃	国語	環境(森林)・情報	〃
	H15年度	〃	算数	〃・ことわざ・自作カルタ	〃
	H16年度	〃		継続	
5年生	H14年度	〃	理科	環境(海)・情報	〃
	H15年度	〃	社会	〃・ことわざ・自作カルタ	〃
	H16年度	〃		継続	〃
6年生	H14年度	〃	社会	文化・国際理解・情報	〃
	H15年度	〃	理科	〃・ことわざ・自作カルタ	〃
	H16年度	〃		継続	〃

人材マップの活用・追加

(3) 年次計画

テーマ

一人一人の生きる力の育成
～主体的に学び、表現する力を育む授業改善を通して～

仮説(5視点) <は、重点視点 >

視点1 東っ子チャレンジ(自作漢字テスト)の繰り返し練習によって、基礎・基本の基盤となる漢字力・作文力の育成を図ることができるのではないか?

視点2 授業改善において、学習材や単元構成の工夫・学習指導法の工夫・評価の工夫・子供の表現物の積み上げの工夫などを行うことによって、教科としての確かな学力を定着することができるのではないか。

視点3 教科で獲得した学力を生活科や総合的な学習の中で関連性を持たせることによって生かすことができるのではないか。

視点4 道徳・学級活動・児童会活動等の時間を利用することによって、総合的な学力を使って、自分の生き方や在り方を考える子供の育成を図ることができるのではないか。

視点5 地域や専門的な人材・施設マップの作成や、教科・総合的な学習の

平成14年度

中で人材を有効に活用することによって、豊かな心，社会性を体得できるのではないか。

研究内容と方法・・・研究追求の5視点

視点1 基礎・基本の基盤となる漢字力・作文力の育成の工夫

視点2 授業改善により，教科としての確かな学力を定着させる工夫
学習材や単元構成の工夫

指導法の工夫

評価の工夫

子供の表現力の積み上げを作る工夫

視点3 教科で獲得した学力を，生活科や総合的な学習で生かす工夫

視点4 自分の生き方や在り方を考える子供の育成

視点5 専門的な人材活用の在り方

テーマ

確かな学力と豊かな心の育成

～主体的に学び，考え・表現する力を育成する授業改善を通して～

仮説（5視点）<は，重点視点 >

視点1 自作による計算ドリル（東っ子ユースフル）の作成・指導や東っ子チャレンジで漢字力・作文力など，基礎・基本の礎となる力を育成することができるのではないか。

視点2 授業改善において，学習材や単元構成の工夫・学習指導法の工夫・評価の工夫・子供の表現物の積み上げの工夫などをすることによって，教科としての確かな学力を定着することができるのではないか。

視点3 3～5年生のことわざ・慣用句自作カルタ（東っ子チャレンジパート）や6年の英語歴史カルタの作成・活用をすることによって，教科で獲得したことを月1回程度の総合的な学習で高めることができるのではないか。

視点4 学級経営の中で意図的に創意工夫することによって，自分の生き方や在り方を考える確かな学力や豊かな心を持つ子供の育成を図ることができるのではないか。

視点5 地域や専門的な人材・施設マップに書き加えていたり，教科や総合的な学習の中で人材を有効に活用したりすることによって，総合的な学力を生かした社会性が身に付くのではないか。

研究の内容と方法

視点1 教科等の基礎学力の土台の体得

視点2 授業改善による確かな学力の定着

視点3 教科で獲得した学力を，生活科や総合的な学習で高め，生かす工夫

視点4 総合的な学力を生かして，自分の生き方や在り方を考える子供の育成

視点5 教科・総合的な学習の中で地域の学習材・人材・施設の効果的な活用により，豊かな心，社会性の育成
 * 全職員で5視点について研修する。

テーマ

確かな学力と豊かな心の育成
 ~主体的に学び，考え・表現する力を育成する授業改善を通して~

仮説（5視点） <は，重点視点 >
 平成15年度の充実を図る。

研究の内容と方法

視点1 教科等の基礎学力の土台の体得

視点2 授業改善による確かな学力の定着

視点3 教科で獲得した学力を，生活科や総合的な学習で高め，生かす工夫

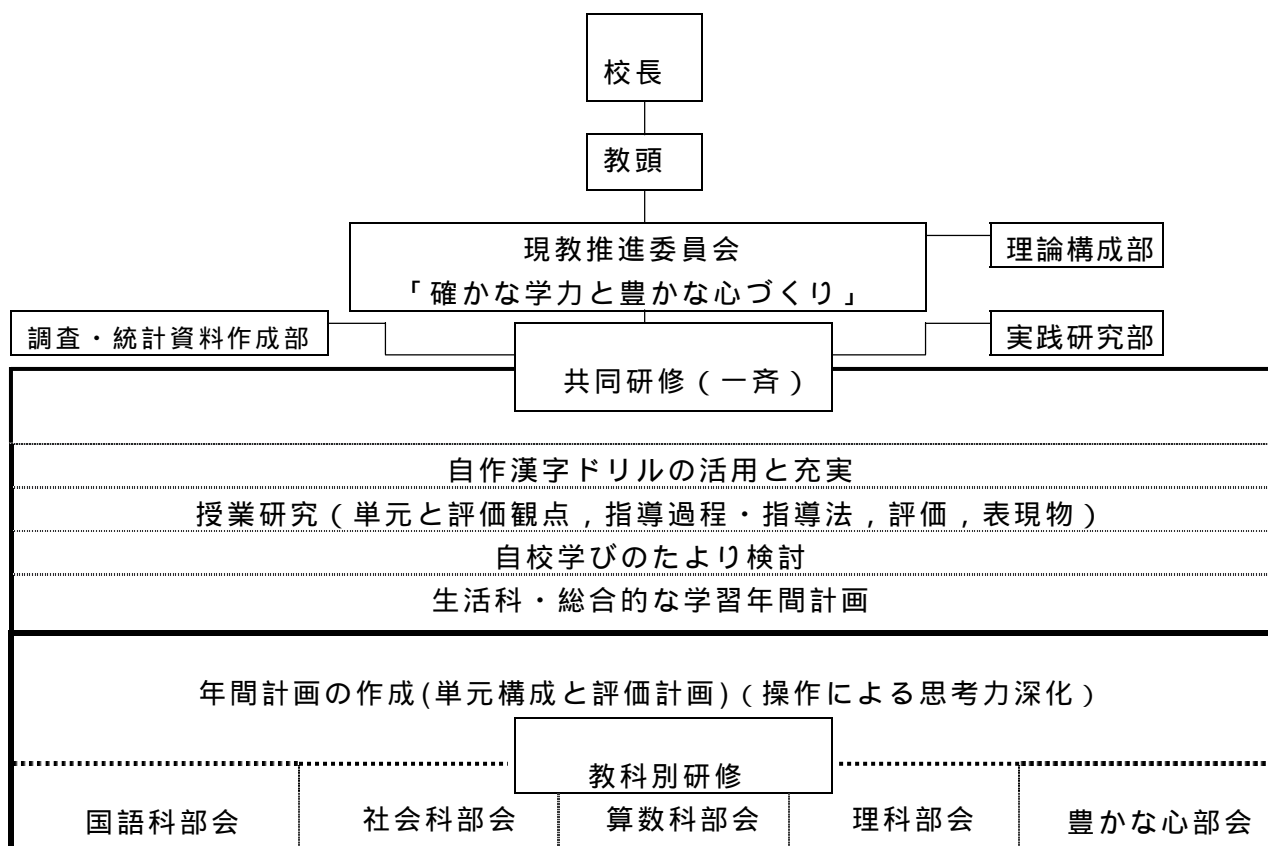
視点4 教育活動全般を通じて，自分の生き方や在り方を考える子供の育成

視点5 教科・総合的な学習の中で地域の学習材・人材・施設の効果的な活用

* 全職員で5視点について研修する。

平成
16
年
度

(5) 研究体制（研究組織）



平成15年度の成果と課題

1 研究の成果

視点1 基礎・基本の礎となる漢字力・作文力・算数生活応用能力の育成の工夫

- ・ 昨年度より自作漢字ドリルに取り組んでいる。100段階に分けられ、1年生～6年生までに習う1006字の漢字の習得をねらっている。現在では100段階までいき、校長確認テストまで合格できた児童も増えている。漢字に対する自信と定着が徐々に図れてきているように感じている。しかも、徐々に児童の漢字を書く筆圧の確かさ、丁寧さ、意欲などが見られるようになった。また、各家庭でも、校長確認テストを受ける際に、児童といっしょに学習をしてくれる保護者も増えてきている。
- ・ 今年度より自作計算ドリルを活用してきた。50段階に分けられ、各々の学年の問題ができた児童にはゲット賞を与え、当該学年の半分の段階までできた場合は、ハーフゲット賞を与え、意欲づけを図っている。1段階ずつ確実に力が身に付いてきている。

視点2 授業改善の工夫

- ・ 学習材の工夫として、算数科の学習「面積」（4年生）において、児童の見通しを大切にしながら課題選択学習をすることで意欲化を図ることができた。また、理科の学習「水溶液のはたらき」（6年生）においては、リトマス紙を使って水溶液が3つの性質に分けられることの理解をもとに、自己選択したBTB溶液・ハーブティーなどの試薬を使って水溶液の性質を調べることで、自ら主体的に学ぶことができた。
- ・ 単元構成では、学習の中に評価規準を明記し、しかも、評価を何で見取っていくかも記入することによって、評価がスムーズにできるとともに、児童の表現物作りにも生かした。
- ・ 学習指導過程において、交流の際には、交流の視点を明確にし、自分の表現物を操作しながら思考を練り上げていく活動の重視によって、思考の深化を図る学習が可能になった。
- ・ 2人の教師によって、児童のつまずきがすぐに発見でき、それに応じた支援や助言ができるようになったとともに、児童の学習への意欲の継続化にもつながった。また、少人数だよりを各家庭へ配布することで少人数学習に対する保護者への理解が増してきた。
- ・ 児童による評価においては、振り返りカードなどを利用することで、自己の伸びが把握でき、しかも友達との人間関係にも役立てることができた。教師による評価においては、単元構成の中で評価の観点を予め決めておくことで、学習のどこでどのようなつまずきが見られるかが把握でき、次の手立てを考える指針作りに生かすことができた。
- ・ 児童の表現物を大切にすることによって、学習の中で調べたものを資料として使ったり、自分の学習の振り返りとして使ったりできるなど、ポートフォリオとして活用することができた。また、教師にとっては、児童の理解度を判断する資料として活用できた。

視点3 教科で獲得した学力を、生活科や総合的な学習で生かす工夫

- ・ 平成15年度生活科・総合的な学習の年間計画・学期計画の中に関連性のある教科を位置づけ、教科で培った学力を生かしたり、高めたりすることができた。例えば、社会科の学習「水産業のさかんな八戸市」（5年生）と総合的な学習「海環境を考える」を関連させることで、水産業がさかんになった理由を知る手掛かりにしたり、漁業の仕方について瀬戸内海と比較したりすることができた。さらには、養殖場や栽培漁業センターなどへの見学などの体験を通して、海環境に対する知識や意識を高めることができた。
- ・ また、国語の総合的な感性を高めるために、自作ことわざカルタ（3～5年）、自作英語歴史カルタ（6年）を活用している。約80%の児童が暗記して言うことができるようになってきている。

視点4 総合学力を生かし、自分の生き方や在り方を考える子供を育てる工夫

- ・ 道徳や学級活動、児童会活動の時間を利用して、自分自身の生活態度について考えたり、

心情面の掘り起こしを図ったりしながら、自分自身を見つめてみるようにした。例えば、道徳の年間計画の中に心のノートで関連させることのできる内容を記入したり、児童会において主体的に活動できるよう児童自らが計画を立て、実践化を図ったりしている。

視点 5 地域や専門的な人材活用の在り方

- ・ 総合的な学習や教科の中で、地域の学習材・人材・施設を活用しており「楽しい学校 & 地域も学校」の気運が昨年度から地域ぐるみで高まってきている。なお、今年も高学年は、専門的な方をお招きして、教師の補助者として学習を進めていくことができ、専門的な内容について子供たちの学力向上にもつながった。

2 成果の普及

- (1) web ページで発信・追加。
- (2) ほとんど全ての教員の論文応募。
- (3) 他校との合同現職教育。

3 今後の課題

視点 1 基礎・基本の礎となる漢字力・表現力・算数生活応用能力の育成の工夫

- ・ 算数コースフルについて家庭との連携を図りながら計算力の向上に努めていきたい。
- ・ 普段の学習でどのようにすれば計算力の向上につながるか模索中である。

視点 2 授業改善の工夫

- ・ 基礎学力の確実な定着の方法を、小規模校の特性を生かし工夫する。そして、学力向上の授業改善の方向性を探る。例えば、交流の場の設定の工夫や評価の在り方などについて研修を深め、明確な伸びの把握ができる学習の進め方を考えていく必要がある。
- ・ 他校との合同研修会を継続し、取り入れられることを見付けていきたい。

視点 3 教科で獲得した学力を、生活科や総合的な学習で生かす工夫

- ・ 生活科や総合的な学習と教科との関連性について見直すとともに、学習指導年間計画の中に位置づけることで、学習をより充実したものにしていきたい。

視点の追加・修正

- ・ 子供にとって、より良い研究の視点の追加や修正を考え、柔軟な研究方法を工夫する。

・ 学力把握のための学校の取り組みについて

- ・ 基礎・基本のもととなる漢字力・作文力・計算力や生活に生かせる力・読解力についての定着を年間通じて指導、徹底する。
- ・ 表現物の積み上げを大切に、ポートフォリオとして活用したり、学習における評価の在り方や交流の仕方について研修したりして、さらに授業改善を図りたい。

・ フロンティアスクールとしての成果の普及について

- (1) ホームページの書き加え。

5つの視点についての実践報告及び公開授業のお知らせなど。

- (2) 他校との合同研修。

研究授業の参観を通して、他校の取り組みに学び、自校に取り入れられることを加味していく。また、自校の取り組みについて参観してもらい、他校よりの評価も取り入れるようにする。

=====

【新規校】 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下

【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導

【研究教科】 国語 社会 算数 理科 生活 その他(総合的な学習)

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有